

八女市民センター建設、疑惑を正していただきたい

確か建築設計業務には耐震調査だとか建築確認申請業務も当然のごとくあります。しかし、八女市民センターではそのような手続きがとられる前に、設計が終わったからと言って、多額の設計委託料なるものが設計事務所に支払われています。なぜ支払いを急ぐ必要があったのでしょうか。某市議を迂回して献金がなされたとの情報もあります。選挙資金が必要だったので支払いを急いだのでしょうか。これでは三田村新市長もいい迷惑ではないでしょうか。

八女市の失われた16年は誰の責任でしょうか

八女市には国も県も予算をつけず、結局(今度戦う)古賀誠氏は八女市のことは何もやってくれなかった、ということになっているようです。では、べんがら村はどうでしょうか。国や県の補助金で施設整備されているはずですが、これは、地元の有力者が古賀誠氏に陳情したと聞きました。本来、地方自治のために、まちづくり構想を描き、補助金申請をするところは申請して整備するものではないのでしょうか。単に、あなたが、まちづくり構想を描けなかったからではないでしょうか。そうそう、なぜマニフェスト討論会も辞退したのですか。それもあなたが、まちづくり構想を描けなかったからではないのですか。

再度、「野田前八女市長」に届けたい。

市政半ばで投げ出してくれたおかげで、八女市はおかげでこれから「変わる」という期待が持てます。しかし、実行力もない、疑惑だらけのあなたが国政に出るなら同じこと。国も地方の立場で真剣に考えてもらわないと困ります。あなたにはその資格も力量もないのでは。

「良識ある八女市民のみなさん」に届けたい。

三田村新市長には頑張ってもらいたい、そのために国の力も必要な八女市です。野田前八女市長に届けたくても届かない声もあるのです。だから、市民のみなさん、一緒に声を上げてください。「野田さんの政治哲学はなんですか?」と。

私たち、『八女市「失われた16年」を取り戻す会』では、八女市の関係当局、市議会の関係者をはじめ、多くの方から資料提示を求め、またヒアリングを通じて、これらの事実だとか、疑惑を把握しました。

どうぞ、八女市民のみなさん、一緒に声を上げてください。再度、「野田さんの政治哲学はなんですか?この地域をどうしたいのですか?」と。

八女市「失われた16年」を取り戻す会  
八女市民代表の声